

R8.5.22 研修参加者アンケートのまとめ

A: 本日の研修で印象に残ったこと・内容をご記入ください。

1. やさしい日本語と伝え方の工夫

- ・やさしい日本語や「ハサミの法則」「ワセダ式」など、分かりやすい伝え方の重要性を学んだ。
- ・実際に日本語を簡単に言い換える難しさと必要性を実感し、実践したいと感じた。
- ・対象児の有無にかかわらず、日常的に意識することの大切さを学んだ。

2. 保護者への理解と関わり方

- ・外国にルーツのある保護者の悩みや将来への不安を具体的に理解できた。
- ・伝え方や関わり方を意識し、見通しをもてるよう支援したいと感じた。

3. 言語習得と言語相互依存の視点

- ・第一言語が土台となり第二言語の習得につながることを学んだ。
- ・親子のコミュニケーションや家庭での言語環境の重要性を再認識した。

4. 文化の違いの理解と尊重

- ・生活習慣の違い等、具体例から文化の多様性を学んだ。
- ・違いを否定せず、それぞれの文化を尊重する視点の大切さを感じた。

5. 継続的支援と多様性に富む環境づくり

- ・卒園後も続く課題や支援の必要性について理解が深まった。
- ・多国籍環境の中で自然に多様性を学べる保育の重要性を実感した。

B: 本日の学びや気づきを生かし、今後どのように取り組もうと思われませんか。

1. 異文化理解を保育や支援に生かす

- ・クラスのベトナムの子どもにも、今日学んだことを早速実践したい。
- ・子どもたちへ意図的に異文化の楽しさや面白さを伝えていきたい。

2. 職員間で共通理解を深める

- ・今日学んだことを職員同士で共通理解し、保護者支援にもつなげていきたい。

3. 一人一人に丁寧に関わる

- ・外国にルーツのある園児、保護者だからというわけではなく、より一層丁寧な関わりをして密に連携を取りたい。
- ・「みんな同じではなく違うのは当たり前」という意識を常にもち、保育にあたりたい。

4. 文化や背景の違いを意識して支援する

- ・その国の文化や日本との違いを調べ、当たり前が当たり前ではない感覚をもって関わりたい。
- ・学校教諭として、児童の生活経験をいかに担保できるかを考えていきたい。

5. 伝え方や対応方法を工夫する。

- ・イラストや写真を使うなど、伝わりやすい方法を工夫していきたい。
- ・「短く簡単に」を意識し、分かりやすく伝えられるようにしたい。